

令和7年5月定例

中標津町教育委員会議事録

令和7年5月定例中標津町教育委員会

1 日 時 令和7年5月29日(木)10時00分～10時30分

2 場 所 中標津町役場3階301号会議室

3 出席者

教 育 長	山 田 康 司
委 員	義 盛 幸 規
委 員	青 山 幸 子
委 員	細 谷 俊 輔
委 員	高 橋 幸 子
教育部長	山 宮 克 彦
教育指導監	横 山 裕 充
指導室長	中 川 律 子
管理課長	桐 島 秀 一
学校施設主幹	高 橋 大 樹
学校教育課長	下 村 浩 次
社会教育課長	七 條 隆 志
農業高校事務長	葛 西 利 光
学校給食センター長	加 藤 崇
総務係長	三 浦 諒
書 記	鈴 木 佐 奈

4 欠席者

教育指導監	二本柳 千 尋
-------	---------

5 傍聴者 なし

6 議 題

議案第12号 令和7年度教育委員会所管一般会計補正予算について
報告第2号 6月定例会教育行政報告について

【開 会】

○教育長

令和7年度5月の定例教育委員会を開催いたします。

全員出席ですので、会議は成立します。

本日の署名委員は、義盛委員と青山委員です。よろしくお願いいたします。

本日の議題は、議案第12号 令和7年度教育委員会所管一般会計補正予算について、報告第2号 6月定例会教育行政報告についてとなっています。

議案第12号は町長への意見の申し出に関する事項です。中標津町教育委員会会議規則第10条第1項第5号の規定により、公開しないことにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員から「異議なし」の声あり)

○教育長

それでは、議案第12号は公開しないこととします。

議事に入ります。議案第12号説明をお願いします。

◎議案第 12 号 令和 7 年度教育委員会所管一般会計補正予算について

非公開

◎報告第2号 6月定例会教育行政報告について

○管理課長

報告第2号 6月定例会教育行政報告について説明いたします。

5ページをお開き下さい。6月定例会教育行政報告で次の3点について、報告するものでございます。

6ページをお開き下さい。

1点目は「令和7年度町立学校学級編制について」でございまして、小・中・義務教育学校合わせた児童・生徒数の合計は前年度対比45名減の1,636名、学級数では普通学級が2学級減の57学級、特別支援学級が6学級減の40学級となっております。

教職員の配置数では前年度対比8名減の172名となっております。

中標津農業高校につきましては、昨年度と同数の2学科32名が新1年生となり、全校生徒は前年度対比10名減の6学級95名、教職員は24名となっております。

次に7ページをお開き下さい。

2点目の「令和7年3月卒業の中学生・高校生の進路状況について」でございます。中学校の卒業生は189名で、185名が進学し、このうち22名が農業高校に、116名が中標津高校に進学しております。

また、高校生の進路状況ですが、農業高校では卒業生38名のうち、13名が進学し、就職希望者は町内の就職13名を含む24名の就職が決まり、就職決定率は96.0%、進路決定率は97.4%となっております。

中標津高校では、卒業生156名のうち、124名が進学し、進学率は79.5%、就職希望者31名のうち、町内への就職17名を含む31名の就職が決まり、就職決定率は100%、進路決定率は99.4%となっております。

次に、中標津支援学校では卒業生25名のうち一般就労者が4名、就労移行支援等福祉的就労が19名となっております。

3点目は「各種大会等の出場結果について」です。4月3日、4日に、横浜市で開催された「グランディール音楽コンクール全国大会ピアノ部門」、「グレンツェンピアノコンクール東京本選大会」に丸山小学校2年の児童が出場し、いずれも銅賞を受賞しました。

以上3点について、6月定例会の教育行政報告とさせていただきます。

説明は以上でございます。

○教育長

報告第2号について説明がありました。ご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

(委員から「ありません」の発言あり)

○教育長

それでは報告第2号については可決されました。以上で議事は終了いたしますが事務局から事務連絡等ありましたら、お願いします。

○社会教育課長

社会教育課より別紙で配布しております、資料「中標津町図書館の開館時間の変更（試行運用）」につきまして、ご報告をさせていただきます。

図書館の開館時間につきましては、指定管理者制度を開始した翌年の平成23年4月から利用者のニーズに合わせて、午後6時閉館だったのを午後7時まで1時間延長するよう条例を改正しまして、現在まで運用してきておりますが、近年夜間の来館者数が減少している現状にあります。

要因としましては、インターネットやスマートフォンの普及によりまして、時と場所を選ばずに情報収集や蔵書の検索ができるなど、生活環境の変化が起因しているものと推察しております。

一方で、開館時刻の午前10時前には開館を待つ利用者も見受けられまして、小学校の図書館見学の際は学校の要望を受けて、開館時間前に対応したケースもあります。

さらに近年の猛暑によりまして、暑熱避難施設のニーズが高まってる中、間もなく図書館にエアコンが設置される予定でございまして、町民の安全確保と利便性の向上を図るために開館時刻を午前9時に1時間前倒すことによりまして、文化会館が午前9時から会館しておりますので、そことのギャップも考えまして、開館時間の変更についても次のとおり、試行運用するものでございます。

既にらいふまっぷ5月号で開館時間の変更を計画している旨、予告をしておりまして、来週発行されます6月号にも試行運用を行う記事を掲載しますほか、財団のホームページやSNS、施設内にポスター掲示するなど事前周知を図っております。

7月1日火曜日から開館時間を午前10時から午後7時までを午前9時から午後6時までに変更するものでございます。試行運用終了期間については定めておりませんが、この期間中にアンケート等によります利用者ニーズを検証しまして、将来的な条例の改正について検討を行って妥当と判断された際には必要な手続きを行う考えでございます。

参考としまして、今年の3月に行いました、温水プールの時間変更につきましても、6年間になります。試行運用を行って、条例を改正したという事例もございまして、ご承知いただければと思います。

なお、この件につきましては、昨日町議会の所管委員会でありまして文教厚生委員会の方にも報告済みでありますので、ご承知願いたいと思います。

報告は以上でございます。

○教育長

ほかに。

○管理課長

はい、令和7年度学校行事への参加について、説明させていただきます。

皆様のお手元にお配りしました、令和7年度学校行事予定一覧表をご覧ください。こちらには町立学校ほか、年間行事予定を記載しています。

今年も運動会の時期になりまして、早い学校では広陵中学校と計根別学園が明日30日に、その後も各学校で開催されます。ご希望があれば教育委員の皆さんにもご参加いただきたいと思いますので、ご連絡をお願いいたします。

なお、学芸会、文化祭等についても同様に考えておりますので、お時間があれば学校に伝え調整いたしますので、ご連絡をお願いいたします。

また、先の話にはなりますが、卒業式と入学式についても昨年同様にこちらで割り振りをしまして、ご対応いただくこととなりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以上になります。

○教育長

2件について説明がありました。

何かご質問、ご意見ございましたらお願いします。

(委員から「ありません」の発言あり)

○教育長

委員の皆さんから何かありますか。

○義盛委員

1ついいですか、総合教育会議は出席できずご無礼したんですけど、そのときに話になっていたら一週遅れで申し訳ないですけども、お伺いしたいのが、中学生の進路指導についてなんですけれども、今週、中標津高校の2次募集がなされまして、1学級1間口減で結局スタートしたと聞いているんですけども、今回この定例の報告の資料7ページを見たら、町立学校の卒業生は189名で、185名が進学したと、このうち22名が中標津農業高校、116名が中標津高校に進学したということは、差し引きざっくり47名、ほかにもいろんな要素があるんでしょうけど、おおよそ47名がだいたい1間口分なんです。おそろく管内のほかの学校に行く事例もあると思いますし、また、進学に札幌圏だとか釧路圏のほうに赴かれる方もおられると思うんですけども、正直申しまして、うちお参りを回ってて、子どもさん孫さんが札幌とか進学に外に出ることに対してそんなに前向きではない、もしくは学力がそれほどでもないんですけども、中学校の先生に積極的に背中を押されていたんだと何件か2、3件聞き及んで、もちろんそれは全然構わないことなんですけれども、正直就学するのに対して、それだけの高校3年間を親元を離れて、過ごす事に対するリスクをちゃんと考えた上で、また、その子の個性をしっかりと見極めた上で親元を離れさせる指導をされているのかどうか、正直疑問に思うことが去年ぐらいから見受けられるんです。中学校3年生の進路指導について、調べたことって今まであったでしょうか。そのことについてお伺いしたいんですけども。

○教育長

調べたってどういうことでしょうか。

○義盛委員

どういうふうに進路指導をして、何か基準があって地元の高校ではなくて、君は札幌にぜひ行くべきだとか、この高校に行って何かをするべきだというよ

うな明確な基準とかを設けられて指導していることがあったのか、そしてそういった場合にそのご家庭の状況をしっかり認識したうえで指導されているのかということが知りたい。正直僕わからなかったんですが、まどろっこしくて申し訳ないんですけれども、一度調査できないものかなと思ったんですけど厳しいですよ。

○教育長

中学校の教頭経験、校長経験のある、担任をやっていた二本柳指導監が一番これには答えやすいと思いますが、今日は別用でいませんので。

○義盛委員

そうですね。

○教育長

調査は可能だと思います。

○義盛委員

結構未成年で親元を離れることに対するリスクっていうことをあまり軽視してはいけないと考えてまして、僕自身が高校から親元を離れて、3年間よその地域に行ったんですけど、正直申してそんなに良いことがあったかというとなんかになかったというのがあるんです。

そしてうちの子は地元の高校で進学して過ごしたんですけど、中標津高校はそんなによその学校に比べて落ちてるのかなと正直疑問なんですけど、要は185人卒業して、40人近く外に出なきゃいけないこと、それは学力の上下あるんでしょうけども、それだけ地元が見劣りする土地なのかなと正直疑問で、そこからもれなく地元の勢いをそぐ傾向にあるんじゃないかなと危惧しているんです。

中標津高校の教育をしっかりと把握したうえでその子の家庭の進路指導をしていただくような方法をとってもらえたらなと個人的な感想で申し訳ないんですけど、ちょっと中学校の進路指導の仕方を教えてほしいなと思いました。

○教育長

私も中学校の校長経験あるんですけど、基本的に学力高くて、評価を伸ばせるなど思ったら、そういう道もあるよというふうに進めることは当然ある。

ただ最終的に決めるのは家庭ですので、無理強いとかは絶対してない。

ただ、人によってはあまり深く考えずに裕福ではない家庭にそういうこと言う可能性は十分あります。

特に高学力の子どもさんとか、部活で外を目指す子どもさんがほぼ出ていきますんで、これは止めることは出来ません。

非常にデリケートな問題だと思います。ちょっとこちらに預けてもらった方がいいですかね。

○義盛委員

シングルマザーの家庭で学力が通常の子を正直札幌への進学を進められて、家族としてはちょっと困ったという事例があったんですよね。どのような、要はアプローチの仕方ですよね。

子どもさんに積極的にお前は頑張んなさいというような進め方をされているのか、それとも親御さんに確認した上でしているのとではまたちょっと違うと思うんです。

子どもさんはやっぱり自分の可能性を広げたい思いは当然あるでしょうし、それを否定するつもりはないですけども、そのご家庭としっかりと連絡した上で進めているのであれば全然問題ないと思います。

学力、スポーツもそうなんですけど、それ以外の、この子は中標津に置いておくのはもったいない児童、生徒が40人もいるのだろうか、親元を離れてまで育ててほしいと思う子が年間40人もいるのかどうか、正直この資料を見て思うんですよね。本当に素朴なことで申し訳ないですけど。

○教育長

ただ管外的にみると結構このくらいの割合で市町に出ると思うんです。無理に行けとか、学校はあまり言わないですね。

私の視点ですけども、この件についてはもうちょっと詳しく聞いて、それをしないで現場に流したら先生方も進路指導も意欲を削ぐことにもなり得るんで非常に難しいと思います。

ただ本当に家庭の事情等を考えないで勧めたりすれば、それはちょっと一考しなければならぬ。

義盛委員の方でもう一回詳しく聞いていただいて、それを受けてという事でよろしいですか。

○義盛委員

はい。中標津高校はそんな悪いところじゃないってことは僕らも認識していると思うんですけど、もっと勧めるようなことがあってもいいのかなど、僕自身は勧めたいなと思っています。

余計なこと言いました。

○教育長

ちなみにこの間の学校訪問で校長先生、教頭先生にお話をしました。その時に魅力ある学校にしたい、どういう学校を保護者の方々や子どもたちが望んでいるのかを今後アンケートを取る話をされて、中標津高校自体も子どもを増やす努力をしたいと思います。

それも期待して見ていてください。

○義盛委員

ありがとうございます。

○教育長

この件についてはよろしいですか、ほかに何かございませんか。

(委員から「ありません」の発言あり)

○教育長

それでは、本日の会議日程はすべて終了いたしました。
お疲れ様でした。